

平成31年度 水道事業会計予算のあらまし

■ 業務の予定量

	平成31年度	前年度比
給 水 戸 数	12万3,500 戸	△ 500 戸
年 間 総 給 水 量	2,630万0,000 m ³	100,000 m ³
一 日 平 均 給 水 量	7万1,858 m ³	77 m ³

■ 収益的収支

収益的収支とは、企業の経営活動に伴って発生する収入と、その年度の収入に対応する支出をいいます。

主な収益的収入として水道料金があります。

平成31年度水道事業会計予算では水道料金収入39億9,335万円、受託工事収益806万円、加入分担金などその他の収入6億3,605万円を合わせた46億3,746万円（前年度比1.0パーセント増）を予定しています。

収益的支出は、水道水を皆さんの家庭に届けるために必要となる費用です。

県の浄水場から水道水を買入れる受水費、配水ポンプなどの機械を動かすための動力費、機械や水道管の減価償却費などで構成され、44億188万円（前年度比1.3パーセント増）を予定しています。社会・経済情勢の動向を踏まえ積極的にコストダウンを図り、経営の合理化を推進することにより2億3,558万円を純利益（消費税含む）として見込んでいます。

■ 資本的収支

資本的収支とは、企業の設備投資に伴って発生する収入と支出をいいます。

長期的な安定給水と地震等の災害に強い水道施設の整備を図り、配水管網の整備や浄水場施設の更新工事を推進するための収入と支出です。

平成31年度予算では、資本的収入として、他企業などに依頼された水道管の布設替え工事代金の負担金など5億7,018万円（前年度比 65.0 パーセント増）を予定しています。

資本的支出は、浄配水場などの設備、配水管の布設及び古い施設の改良工事費などが28億5,812万円、借入金の返済が1億9,370万円で、総額30億5,182万円（前年度比2.1パーセント減）を予定しています。なお、収入に対する支出の不足額は内部留保資金などで補います。

■ 水道事業会計予算額の推移

(単位:万円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 入	45億5,053	45億3,398	45億3,790	45億9,348	46億3,746
収 益 的 支 出	42億4,943	41億8,241	42億6,632	43億4,519	44億188
資 本 的 収 入	1億5,446	1億3,776	1億5,687	3億4,561	5億7,018
資 本 的 支 出	14億8,049	17億6,611	26億7,490	31億1,838	30億5,182